

セ タガヤ ボ ランティア ネ ットワーク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発! ボランティア生活発見マガジン
<https://www.otagaisama.or.jp/>

2024.3 No.239

今月のトピック

- 特集 P.2-5

展覧会

「世田谷のまちと暮らしのチカラ まちづくりの歩み 50年」

- まちの市民力!! P.6

NPO 法人 JOY

- せたがや災害ボランティアセンターレポート P.7

令和6年能登半島地震被災地支援ボランティア派遣募金
災害ボランティアコーディネーター養成講座（基礎編）開催

- ミニレポート P.11

東京青年会議所（JC）と協力協定を締結しました
ご寄付のお礼

●イラストレーター しゅい

生まれも育ちも世田谷ではないけれど、世田谷は大好きです！
デザインは趣味で、デザイン系の職業につきたいと思っています。
好きなものは、鳥の軟骨と砂肝です。

●わたしの世田谷

都心では珍しい自然が豊かでのびのびと過ごしやすい街です。
大人になったら住みたい街ベスト3に入るくらい素敵なところだと思います。



展覧会

「世田谷のまちと暮らしのチカラ まちづくりの歩み50年」

世田谷のまちづくりは1975年に特別区へ都市計画の権限が移ってから始まり、住民参加のまちづくりの先駆けでもありました。それから約50年経ち、今ではどのようなまちづくりが展開されているのでしょうか。その一端を垣間見ることが出来る本展覧会の内容をご紹介します。

この展覧会は5パートに分かれて150点以上の展示物で構成されています。世田谷において住民参加のまちづくりがくり出してきた「まち」と、そこで繰り返されてきた「暮らし」を見渡せる展示となっています。以下、それぞれのパートを説明します。



「世田谷のまちと暮らしのチカラ まちづくりの歩み50年」
 2024年1月31日(水)～4月21日(日) 9:00～21:00
 祝休日をのぞく月曜休み、入場無料
 生活工房ギャラリー(3F)/ワークショップ B(4F)
<https://www.setagaya ldc.net/program/564/>

1 まちづくりの空間

3階ギャラリーの手前側は、「まちづくりの空間」をテーマとした展示です。「まち」の空間は長い時間をかけてつくられ、その空間に支えられて様々な「暮らし」が営まれています。

世田谷のまちづくりで特徴的なことは、市民の自発的で先駆的な動きに区が反応して基本構想や重点施策に取り入れられて市民参加



▲ 3階ギャラリー：時間と空間をつなぐ年表と3つの模型

の流れと土台ができたことです。年表からは、1980〜90年代の「リレーイベント」で市民参加に区が横断的に取り組んだことや、1992年の「まちづくりセンター・まちづくりファンド」の設置以降、多くの市民動団体が展開してきたことが見て取れます。また、1998年の「ぶりっじ世田谷」後、まちづくりのネットワークが立ち上がりはじめ、現在では、市民による居場所づくりや社会的起業などが連動するように広がっていることがわかります。

ギャラリー中央には、3つの空間模型を展示しています。住宅を地域に開放しイベントスペースとしても使われている「シエア奥沢」。若者文化の集積地であり都市計画の賛否を問う市民運動が起りながらも議論を重ねてきた「下北沢」。街づくり協議会が中心となって木造住宅密集地域を改善していく修復型都市デザインの手法がとられた「太子堂」。住宅・駅・

まちとスケールは異なりますが「まち」と「暮らし」をよりよいものにしようとする様々な営みがなされていることがわかります。

2 地形と都市計画

3階ギャラリーの奥側は、「地形と都市計画」をテーマとした展示です。かつて農村だった世田谷区は近代以降住宅地として発展するなど、大規模な都市開発ではなく人々の住まいと暮らしが集積した結果、今のまちがつくり上げられてきたのが特徴です。

壁に掲示された立体地図には、プロジェクトンマップングで世田谷のまちの成り立ちを理解できる20枚の地図をナレーションとともに映写しています。これまでの都市計画やまちづくりの中で使われてきたもので、地理的・歴史的な文脈に沿って様々な主体による活動や事業が積み重なってきたことがわかります。

プロジェクトンマップングの反対側には「ガリバー地図」の模様が展示されています。これは大きな地図を体育館などの床に敷き、その上に市民が乗って議論するという方法で、1988年に三軒茶屋で開催された展覧会でこの手法が使われました。インターネット以前は地図は主に専門家が使うものでしたが、このイベント以後、市民が地図を使いこなしていく発端となりました。



▲ 3階ギャラリー：立体地図は世田谷の地形を体感できます

3 グラフィックデザインと都市デザイン

4階ワークショップBの最初のエリアが「グラフィックデザインと都市デザイン」をテーマとした展示です。世田谷区では1979年に「都市美」という言葉のもと都市デザイン室を設置、空間だけでなくポスターや様々な刊行物も美しくデザインされました。デザインの過程への「住民参加」



▲ 4階ワークショップ：多岐にわたる都市デザインの展開

も世田谷の特徴です。都市デザイン室が調整しながら、公共トイレ・電話ボックス・街路・駅・バス停・区民センター・学校、そして清掃工場の煙突にいたるまで、あちこちでデザインされた公共空間が1980年代に誕生します。また、一部の施設の整備にあたってはアイデアを募るコンペが行われました。1986年の世田谷線宮の坂駅・界隈づくりコンペには気鋭の建築家による提案もあれば、市民グループからの提案もありました。このように、多くの人から提案を集めて公開の場で審査し決定していくこの方法は、デザインのプロセスに市民を巻き込む方法でもありました。

4 ワークショップと道具箱

4階ワークショップBの中程のエリアが「ワークショップと道具箱」をテーマとした展示です。1980年代～90年代にかけて



広がった住民参加を支えたのが、まちづくりファンド・まちづくりセンターといった仕組みでした。まちづくりセンターは住民による都市デザインを支援するための専門組織で、行政と住民をつなぎながら多くのプロジェクトを実現しました。そこで初めて導入された、参加者が対等な立場で話し合い創造的な結論を導き出す「ワークショップ」と呼ばれる方法は、日本全国に広がり今では各地で行

われています。

まちづくりファンドは、区・企業・区民から資金を募って基金をつくり、市民活動に助成をする仕組みです。公開型であることがその特徴で、公開審査会に市民が提案を持ち寄り、運営委員が模造紙に支援金額を書き入れてその場で決定されます。これにより多種多様な市民活動が可視化され、活動同士の連携が生まれました。

一方、ワークショップを使った計画づくりのモデルとなったのが、1994年に開園した「ねこじゃらし公園」です。ウオークラリーやデザインゲーム、原寸確認ワークショップなど様々な住民参加手法が実施されました。開園後、参加者が継続して公園の運営管理を行うコミュニティが組成されたことも大きな成果と言えます。

5 市民のデザイン

4階ワークショップBの外側の

エリアに広がるのが「市民のデザイン」をテーマとした展示です。「三子玉川」「下北沢」「地域共生のいえ」「風景づくり」「世田谷のトラスト運動」「子どもとまちづくり」「学校からはじまるまちづくり」といったエリアやテーマに分かれた7つの小さな展示群となっています。

市民が自分の暮らしの空間やまちをデザインすることは当たり前のようで簡単なことではありません



▲ 4階ワークショップ：等身大の市民のデザインに注目

ん。様々な取り組みが50年わたって行われてきた世田谷のまちには、行政の枠にとられない「市民のデザイン」とでもいうべき知恵と工夫に満ちた、そこで暮らす人々による多種多様な取り組みが今も繰り広げられています。

さいごに

今回の展覧会の開催に当たっては、行政・団体・個人問わず多くの方々に資料を提供いただきました。2000年以前は様々な報告書が作られていましたが、デジタル化の影響もあってか近年は積極的に作られていることが少なく、アーカイブを残すことの意義を改めて感じました。ここで展示されているものは過去の記録ですが、「まちと暮らし」をよりよくする未来の取り組みにつながる手がかりにもなります。ぜひじっくりとご覧になってみてください。

(文章／編集委員 市川 徹)



ともに生きる社会をめざして
～わたし、となりあなた～

NPO 法人 JOY

まちの 市民力!!

取材・近藤 浩紀

街の中で地域やそこで暮らす
人たちと一緒に活動している
団体を紹介します

ら、福祉作業所が休
館日の余暇活動とし
て料理教室を行いま
した。

料理教室を始めて
1年後には、高齢者
施設で福祉喫茶を運

昨年、とある場所で、「あー、
近藤さんお久しぶり！ 私、今は
NPO 法人 JOY の理事長とし
て仕事をしているんです！」と川名
あきさんからびっくりなご報告を
受けました。NPO 法人 JOY
は、「喫茶 JOY」を運営し、三
軒茶屋にある世田谷産業プラザビ
ルの1階にあります。私も何回か
ランチをしに行ったことがあった
ので、まさに青天の霹靂でした。
JOY の活動は2000年11月
から任意団体として始まりまし
た。はじめは、福祉作業所の所長
や福祉喫茶の運営経験がある初代
理事長の高橋美智子さんが、「知
的に障害がある方たちに生活力を
身につけてほしい」という想いか

営し、4年後の2006年12月に
NPO 法人 JOY として法人格を
取得し、現在の場所で「喫茶 JO
Y」をオープンします。JOY の
法人理念である「障害のある人も
ない人も支え合って共に地域で生
きることを願って」を形にする場
であり、福祉作業所の方が仕事を
体験する実習の場でもあります。
私がお邪魔した時にも2名ホー
ルスタッフとして仕事をしてい
て、私が注文したピザトーストを
持ってきてくださいました。
「年間40名ほどの方が喫茶体験
実習に来てくださいます。皆さん
個性豊かで私たちスタッフも楽し
いです。喫茶 JOY は、実習者と
お客様のふれあいを大切にしてい

ます。言葉でなくてもお互いの間
に流れる何かを感じられる場にな
ればと思っています。ぜひ多くの
方にご来店いただき、心あたたま
るサービスを体感していただきたい
です。」と川名さん。

喫茶 JOY はどれもおいしいので
すが、特に国産牛肉の自家製ビー
フカレーや川場村ソーセージが絶
品です！ みなさんも JOY にお
とずれて味わってみてはいかがで
しょうか？



【喫茶 JOY】

世田谷区太子堂2-16-7
世田谷産業プラザ1階「世田谷まちなか観光情報コーナー」内
<営業時間> 10:00～17:00 <電話番号> 03-3411-6675
<定休日> 第2土曜、日曜、祝日 <バリアフリー> 授乳室有り

せたがや災害ボランティアセンターレポート

令和6年能登半島地震被災地支援 ボランティア派遣募金

元日に発生した能登半島地震から2か月が経過した今も、被災地では多くの方が大変な苦労をされ、復旧や支援に懸命の努力をされています。

せたがや災害ボランティアセンターでは、必要な支援を行うボランティアを被災地に派遣するため街頭募金やボランティアセンター、ビュローに設置した募金箱、主催事業での募金活動を行っ



ています。1月21日(日)と28日(日)は、三軒茶屋と二子玉川の2か所で街頭募金を行いました。

当日は、協会と災害時協力協定を締結している三軒茶屋ライオンズクラブ、東京世田谷ライオンズクラブ、東京青年会議所(世田谷区委員会)の皆様のご協力、ボイスカウトやボランティアの方々の熱心な声掛けもあって、2日間で31万1千円以上の募金をお寄せいただきました。小さなお子さんが自分のお財布から小銭を入れてくれる場面もあり、活動にあたったボランティアや協会職員も励まされました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございます。おかげさまで、募金額はこれまでの累計で約90万円に達しました。(2月18日時点)

これまでも被災地のニーズを踏まえて世田谷からのボランティア派遣を行ってきましたが、今回の能登半島地震についても被災地の情報収集を精力的に行い、必要な

支援を行うボランティアを派遣する準備を進めています。派遣の際は、せたがや災害ボランティアセンターのウェブサイトでお知らせします。募金活動は今後も継続していきますので、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

災害ボランティア コーディネーター養成講座(基礎編)開催

1月27日(土)に日本体育大学で災害ボランティアコーディネーター養成講座(基礎編)を開催しました。区内5地域で毎年各1回開催している講座の今年度最終回でしたが、折からの能登半島地震による関心の高まりもあって、当日は40名を超える参加があり、うち半数の方がコーディネーター登録されました。登録者数は約800名となり、災害時のボランティア受入れの担い手として期待されます。講座は4月以降も様々な形で開催を予定しています。

ご相談ください

個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアの力を必要としている方と、ボランティアをおつなぎする橋渡しをしています。困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決できるのかわからないという方は、ご相談ください。

電話でお話ししながら、どんなことができるのか、どんな解決方法があるのか、一緒に考えます。

●問合せ/世田谷ボランティアセンター
TEL 5712・5101

個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障害や学習障害の傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労している」「勉強に向き合うことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小学生・高校生の個別の学習支援に取り組みボランティアを探して紹介しています。現在は、オンラインでの学習支

援にも対応しています。勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっていきます。お気軽にご相談ください。

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 原口
TEL 5712・5101
haraguchi@otagaisama.or.jp

ボランティア求む

京 高齢者の通院付き添いボランティア募集

南烏山に住む80代女性が、車いすを使用している通院（3ヶ所）に付き添ってくださる方を求めています。女性の家族もそれぞれ持病を抱えており、病院に連れて行くのが難しくなっています。病院は3つとも烏山地域です。移動にはタクシーを利用しますので、降り降りの際と病院内での移動の介助をお願いしたいです。

●日時/月、水、木曜日の午前中、

それぞれ月1〜2回。月1回可
●場所/自宅（南烏山3丁目）から烏山地域の病院への往復
●交通/芦花公園駅徒歩3分
●条件/車いすを押しした経験のある方、交通費支給
●問合せ/烏山ボランティアピュ
TEL 6909・0333
karasubora@otagaisama.or.jp
https://medicalcura.com/

東 自宅から学校の登下校に付き添ってくださるボランティア募集

世田谷区内在住の知的障がいのある女の子が、自宅最寄り駅（田園都市線の駅）から後楽園駅近くの学校までの登校または下校に付き添ってくださる方を必要としています。女の子は、高校3年生です。おとなしい性格です。電車での移動には慣れており、乗り換える駅や路線などは理解しているため、基本的に彼女が移動するのを側で見守っていただきます。週1回から可。詳しくはお問い合わせください。

●日時/（登校）月・木・金で自宅最寄り駅7時50分ごろ待ち合わせ、8時40分ごろ学校着。
（下校）水曜16時30分に学校前にお迎え、17時30分ごろ自宅最寄り駅着
●場所/後楽園近くの学校と自宅最寄り駅の間
●条件/女性、交通費支給
●問合せ/玉川ボランティアピュ
TEL 3707・3528
tamabora@otagaisama.or.jp

小世 編み物・手芸・アクセサリー作りボランティア募集

デイホーム赤堤で、レクムの時間で利用者様が編み物・手芸・アクセサリー・さしこ・刺繍・ビーズ・アクセサリー等、手芸をしています。そこでこれらが得意で優しく教えてくださいださるボランティアを募集します。詳細はお問い合わせください。

- 日時/月・火・水・木・金・土 10時30分～12時・13時45分～15時
- 場所/デイホーム赤堤(世田谷区赤堤1-37-11)
- 交通/経堂駅、松原駅徒歩8分
- 問合せ/デイホーム赤堤
TEL 33325-1850
dayhome_akatsumi@day-aka.com
<https://fukurohnow.jp>

小世 住民主体型地域デイサービス「たまごの家」ボランティア募集

住民主体型地域デイサービス「たまごの家」(世田谷区介護予防・日常生活支援総合事業)「たまご」は「他・孫の家」もイメージしています。多世代が自由に交流できる居場所づくり(参加者週平均23名、若いも若きも幼きも障害の有無も関係なく、みんなができること・好きなことをして誰かの役に立つことを目指します。以下の内容が得意な方、ぜひご協力頂けると嬉しいですよ！

- 毎週の活動の計画づくり
- 料理作り(1人500円で食事提供のため)
- パソコンを使い書類作成
- 手先を使った工作を提案する

・朗読

少しでも興味のある方ぜひ一度見学にお出かけください。事前の予約はなくても結構です。よろしくお願ひします。

- 日時/毎週土曜日10・13時(年末年始を除く)
- 場所/世田谷区若林4-37-8 ひだまり友遊会館内1Fふれあいルーム
- 交通/若林駅徒歩6分
- 条件/昼食代として500円
- 問合せ/住民主体型地域デイサービス「たまごの家」
担当 武田
TEL 3304-3248
ikuko3248@yahoo.co.jp

京 犬の散歩ボランティア募集

柴犬(15歳雌)の散歩をして頂ける方を募集しています。飼い主の方が体調を崩され、散歩をさせるのがとても難しい状況です。でお手伝いをして頂けるととても助かります。週1回、朝夕どちらかでも構いません。

- 日時/曜日は応相談、朝晩30分程度(毎日が希望複数名募集)

- 場所/北鳥山
- 交通/千歳鳥山徒歩20分
- 問合せ/鳥山ボランティアビューロー
TEL 6909-0333
karasubora@otagaisama.or.jp

東 ヒューマンライブラリーの運営スタッフ(ウェブ操作)ボランティア募集

ヒューマンライブラリーは、精神障害者および身体障がい者、LGBTQ、難病患者、各種依存症に悩む人、移民や難民、引きこもり、見た目問題を抱える人、生きにくさを抱えた人など、偏見や誤解を受けやすい人が「本」(語り手)になり、数人の読者(聞き手)に人生活を自己開示する対話イベントです。

ヒューマンライブラリーのウェブ

- 担当のボランティアを募集しています。ボランティア参加してみたい方、是非、ご連絡ください。
- 場所/らくらくハウス(世田谷区玉川1-8-2)
- 交通/二子玉川駅徒歩2分
- 問合せ/東京ヒューマンライブラリー協会 担当 坪井
090-4751-6942
tsubo12@gmail.com
<https://www.tokyohumanlibrary.com/>

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。

おたがいさま ユ

有償スタッフ募集

東 家事をサポートしてくれる女性を募集します

東玉川にお住まいの目の不自由な80代の女性が、自宅の掃除など家事をサポートしてくれる方を探しています。今は目が全く見えなくなっています、困っています。月1回程度、日曜日午前中の時間帯にお願いしたいです。女性の方のご応募お待ちしております。

- 日時／日曜日9時〜12時前後
- 場所／東玉川の自宅
- 交通／田園調布駅徒歩15分ほど
- 条件／報酬10000円／1時間
(緊急介護人の登録)
- 問合せ／玉川ボランティアアビュ
ー
ー
TEL 3707・3528
tamabora@otagaisama.or.jp

京 単身生活する知的当事者の介助者募集

世田谷で介助を受けながら単身生活する知的当事者たちの生活支援を行っています。どんな重い障害があっても地域で当たり前に生きる社会を目指し、差別をなくし行政交渉や社会的運動など様々な活動も合わせて行っています。私たちの理念に共感し介助を共に担ってくれる方を募集しています。

- ヘルパー資格をお持ちの方優遇です。資格取得の助成もあります。短時間でもかまいません。詳細はお問い合わせください。
- 問合せ／特定非営利活動法人
チャパンとともに生きる会
担当 酒井
070・5563・1475
sazeyoda0193@y2dton.ne.jp

小 施設利用者の送迎車運転スタッフ募集

高齢者ケアセンターデイサービス利用者の、朝・夕の送迎車を運転して下さる方を募集しています。車の乗降時の簡単なお手伝いもお願いすることがあります。

- 日時／月々金曜日(曜日、時間応相談) 朝・8時・9時
夕・16時・17時
- 場所／有隣ケアセンター(船橋)

- 2・15・38)
- 交通／千歳船橋駅徒歩10分
- 条件／報酬・14000円／1時間
- 問合せ／社会福祉法人東京有隣
会 有隣ケアセンター
担当 古橋
TEL 3482・3003

講座・その他・募集

小 もっと語ろう不登校 Part 207

これまで29年にわたって、さまざまな方々の分かち合いの場となってきました。「自分だけではなかったんだ」と知るだけで心が軽くなります。初めての方も、お話し合わせの上、どうぞお気軽にご参加ください。

- 日時／3月9日(土) 14時〜
- 場所／フリースクール僕んち

- (代田4・32・17サンハイツB)
またはZOOM会議
- 交通／梅ヶ丘駅徒歩8分
- 条件／事前申し込み制
- 問合せ／世田谷こどもいのちの
ネットワーク第3分科会「もっ
と語ろう不登校」担当 高橋
090・3905・8124
fstutoru@yahoo.co.jp

上記掲載記事は2月17日時点の情報です。
変更となる場合がありますので、詳細は問合せ先へご確認ください。

東京青年会議所（JC）と 協力協定を締結しました

このたび協会は、公益社団法人東京青年会議所（JC）と「災害時等における協力体制に関する協定」を締結し、平時も含めて相互連携することを確認しました。



JCでは子どもや若者への支援など幅広い地域貢献、社会貢献に加え、災害時の被災地支援や平時の防災意識の向上に積極的に取り組み、P.7の災害ボランティアセンターレポートに掲載した能登半島地震被災地支援ボランティア派遣募金や災害ボランティアコーディネーター養成講座にも早速ご参加いただきました。

今後も様々な団体と連携して協会の活動がより広がるよう取り組んでいきます。

ご寄付のお礼

世田谷ボランティア協会は、毎年多くの方から寄付をいただいています。そして、北烏山の三栄製菓株式会社様から、今年度も多額の寄付をいただきましたので感謝状をお渡ししました。改めて、いつも私たちを支えてくださる方々に、この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございます。



写真右から
三栄製菓株式会社 藤森社長、藤森専務、
当会横山理事長

京 2024路上演劇祭@烏山区民センター前広場

路上演劇祭は2001年に始まったメキシコ由来のイベントです。路上で何かしたい・伝えたい気持ちがあれば誰もがパフォーマー！ プロアマ・年齢・障害・言語を問わず出る人・関わる人を尊重する、みんなで作る演劇祭です。見学は無料・出入りも自由です。どうぞ気軽にお立ち寄りください！

- 日時／4月20日（土）11時〜19時、21日11時〜17時
- 場所／烏山区民センター前広場
- 交通／千歳烏山駅北口徒歩1分
- 問合せ／路上演劇祭 JAPAN 担当 大沢 rojoengeikai2001@gmail.com <https://www.instagram.com/rojoengeikai>

Aーシステムによるマッチングサイトのお知らせ

「趣味や技術、経験を生かしたい」「地域で活動したい」という、ボランティア活動をしたい方の経験や意欲などを、サポートを求める方や団体などを、東京大学先端科学技術研究センターが開発したAーシステムによるマッチングサイト（世田谷版GBER「ジーバー」）で結び付け、ボランティア活動を支援します。

詳細は左記「次元コード」からご覧ください。



世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 北沢ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058
- 烏山ボランティアビューロー 〒157-0065 上祖師谷1-11-14 TEL (6909)0333 FAX (6909)0355
- 砧ボランティアビューロー準備室 〒157-0066 成城6-3-10 TEL (6411)4007 FAX (6411)5888

●日ごろの備えが災害時の力になる●

- せたがや災害ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811

●いのちを大切にするとこ「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋1F TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障害にとまなう「困った!」を話せるところ●

- 地域障害者相談支援センター ぽーとせたがや 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋 2F TEL (6804)0405
- スペース ココカラ。(ぽーとせたがや・パートナーセンター) 〒154-0002 太子堂4-26-9 TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるネ! 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)
*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ!

◆センター&ビューローより

世田谷ボランティア協会のインスタグラムを開設しました! インスタグラム内で「世田谷ボランティア協会」と検索してフォローしてください。URL: <https://www.instagram.com/setabora/>

◆ふらっと& with より

すっかり暖かくなり、室内でのリハビリから外へ出るリハビリに! 動き出すふらっと。お立ち寄りください。

◆結・連より

介助を必要としている人がいます! 世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です!

◆チャイルドラインより

春休みに入り、子どもたちは期待や不安などいろいろな気持ちを抱えていると思います。私たちは、子どもたちの声に寄り添っていきます。

編集
後記

■約40年前に世田谷生まれ、世田谷育ちの私ですが、現在に至るまで街も大きく変化しました。車いすユーザーの私の視点ですが、さまざまな場所がバリアフリーになり、このようなところも、障害がある方たちが一緒にまちづくりに参加した結果なのだろうと感じています。私も一区民として、よりよい世田谷にしていきたいので、まちづくりに参加したいなと思いました。

■世田谷線山下駅の下高井戸行きホーム横に河津桜が咲きます。オススメです。(近藤)

- 発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 03-5712-5101
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ
<https://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人
横山 康博

